

被災地から中山間地域の未来モデルへ 佛子園、コミセン3拠点で「遠隔診療」を開始

～人と人がかかわり合い、元気が生まれる地域共生拠点～

**福祉・交流・医療を一体化し、
被災者が元気に活動できる新たなまちづくり。**

社会福祉法人佛子園（本部：石川県白山市、理事長：雄谷良成）は、2025年、輪島市に「コミセンマリントウンBASE」「コミセン門前BASE」「コミセン鳳至BASE」の3拠点を応急仮設住宅の敷地内に開設しました。これらの「コミセン」は、能登半島地震後の被災者支援を起点に、地域の暮らしを包括的に支える「福祉・交流」の複合拠点として機能しており、高齢者デイサービス、介護予防、障害者就労支援といった福祉サービスに加え、見守り支援や地域の集会所、食事処、銭湯など、人と人が自然に関わり合える環境が整っています。

そしてこのたび、新たに「遠隔診療」を導入。医師不足が深刻な中山間地域において、医療アクセスを飛躍的に向上させる仕組みを整備しました。

「人は人と関わることで元気になる」——この想いのもと、コミセンでは被災者や地域住民が、食事処での会話、銭湯での交流、就労支援事業での協働を通じて、日常を取り戻し、笑顔と活気を取り戻しています。遠隔診療は、こうした「人と人との関係性を支える福祉・交流の場」に医療を加えることで、安心して暮らし続けられる地域モデルを実現します。

この取り組みは、被災地の緊急対応にとどまらず、全国の中山間地域が直面する「人口急減社会」における新しい地域づくりの方向性を示すものです。

佛子園は、能登から「福祉・交流・医療」が融合した未来型のコミュニティモデルを発信し続けます。

「コミセンでは、被災者や地域の方々が毎日集い、語り合い、働き、元気を取り戻しています。人は人と関わることで生きる力が湧いてくる。その力を医療・福祉・交流が一体となって支える場が、これからの地域に必要です。」

——社会福祉法人佛子園 理事長 雄谷良成



▶ 遠隔診療について

「顔の見える」診療を大切に、木曜日は医師が直接対面で診察します。

医師：松田 耕一郎

松田小児科・消化器IBDクリニック 院長
金沢聖霊病院 内科医長

診療科目：内科・消化器内科



診療スケジュール

曜日	診療時間	診療方法
木	14:00 ～ 17:00	対面診療 コミセンマリントウンBASE内
月・水・土	12:30 ～ 13:30	オンライン診療
火・金	12:00 ～ 14:00	オンライン診療

▶ コミセンの施設概要



コミセンマリントウンBASE
【応急仮設住宅 マリントウン第1団地内】
〒928-0008
石川県輪島市マリントウン6-1
電話：0768-55-0016



コミセン鳳至BASE
【応急仮設住宅 鳳至町第1団地内】
〒928-0077
石川県輪島市鳳至町堂金田1-107
電話：0768-55-0030



コミセン門前BASE
【応急仮設住宅 道下第1団地】
〒927-2164
石川県輪島市門前町道下に49-1
電話：0768-55-0058

主な機能

- 高齢者デイ ● 介護予防 ● 障害者就労支援
- 集会所 ● 食事処 ● 銭湯
- 仮設入居者への見守り相談支援
- 遠隔診療



お問合せ先： 輪島KABULET 電話：0768-23-4890（代表）

運営： 社会福祉法人

佛子園
BUSSI-EN



公益社団法人 青年海外協力協会
Japan Overseas Cooperative Association

佛子園TOP

